

## 令和7年度 第5回深谷市地域公共交通会議 議事録

開催日時： 令和7年12月15日（月） 15時00分 ～ 16時25分  
開催場所： 深谷市役所本庁舎3階 災害対策本部室  
出席委員： 長原会長、浅見委員、田尻委員、関根委員、大久保委員、高原委員、  
（22名） 近藤委員（代理：齋藤氏）、平山委員、荒木委員、山本委員、原委員、  
寺田委員、清水委員、内田委員（代理：佐竹氏）、川村委員、島根委員、  
鈴木委員、石島委員、市川委員、村岡委員、茂木委員（代理：倉林氏）、  
渡部委員  
欠席委員： 高田委員、中山委員、大谷委員、佐山委員  
（4名）  
傍聴人： 0名  
議事次第： 別紙参照  
配布資料： 別紙参照

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

### 3. 協議事項

#### 議案第1号 深谷市コミュニティバス「くるリン」（デマンドバス・定時定路線）の 再編内容について

◆本業務の受託業者より資料1の説明

◆質疑

【清水委員】 定時定路線の南部便の新ルート案について、藤沢公民館バス停と沢口公園（東）バス停間は住宅がなく、時間短縮の面では問題ないが、廃止予定のバス停の利用者には影響が生じる。利用者数はどのくらいか。

【受託業者】 21ページに1日あたりの利用者数を示しているが、他の区間と比較すると利用者が少ない傾向である。また25ページでは、沿線の民家数を示しており、新ルート案は現行ルートに対して沿線の民家数が大幅に減少するというわけではない。

【清水委員】 現行ルートの周辺には住宅が存在し、多くの市民の方がカバーされていた一方、新ルート案は住宅との距離があり、現在の利用者は新ルート案のバス停を利用しないと考えられる。現在の利用者は今後どのように

対応するのか。

【事務局】 現行ルートの境（南）バス停は、今年度に入り外国人留学生の利用が少し増えたが、限定的な利用と考えている。また、新ルートが接続される現在工事中の県道深谷嵐山線は、秩父鉄道をアンダーパスで通る計画であるため、将来的にはルート変更を行う際、対応しやすいルート設定としたい。

【田尻委員】 定時定路線の東部便新ルート案の運行ルートを時計回りから反時計回りに変更した場合、松村泌尿器科医院前バス停は医院と道路の反対側になるが、横断歩道を新設するといった対応を行うのか。

【事務局】 バス停の詳細な位置は今後、運行事業者含め、協議する予定である。

【田尻委員】 再編した場合、バス停は現行ルート付近に設置を行わないということがあり得るのか。

【事務局】 バス停の設置場所は、現行の間隔を維持できるような位置としたいと考えている。バス停の設置位置は、前回の会議で深谷警察署から意見をいただいております、安全面を考慮しながら協議の上、決めていく。

【田尻委員】 1 点目に、現南部シャトル便の境（南）バス停では朝・夕に、15 名くらいが自転車で移動してきて、セブンイレブンの駐輪場に止めてバス停を利用している。限定的な利用という捉え方でよいのか。再編案に移行した際には、駐輪場について配慮する必要がある。

2 点目に、資料上の数字は、1 日あたりの利用者数が実際より少ないように感じる。信憑性の高い資料を会議で提示してほしい。

3 点目に、デマンドバスからデマンドタクシーの運用変更に伴い、道路運送法における事業区分が変わるのかを教えてください。

【事務局】 2 点目の定時定路線の利用者数は、利用者の乗降数をカウントするシステムを導入しており、取得したデータを委託業者が集計・分析を行い、資料を作成している。

3 点目のデマンドタクシーの事業認可は、現デマンドバスと同じ一般乗合である。

【田尻委員】 2 点目の乗降カウントシステムで取得した利用者数と運行事業者が感じている利用者数とで差が生じている理由は何か。

【事務局】 今回提示した利用者数は令和 6 年度の数値である一方で、外国人留学生の利用は令和 7 年度に入ってからである。運行事業者が感じている差は、これが原因ではないか。

【田尻委員】 3 点目のデマンドタクシーの事業認可は、現デマンドバスと同じ区域運行だが、再編後は深谷市タクシー協議会に委託となっている。事業を実施するにあたり、一般乗合の区域運行に加え、一般乗用のタクシーの認可がないと運行事業者になることができないのか。

【事務局】 前回の会議において、令和 9 年度からデマンドタクシーは、ドア・ツー・ポイントの運行方式に変更することから、深谷市タクシー協議会に委託をすることとなった。

【田尻委員】 デマンドタクシーは一般乗合の区域運行で行うことから、一般乗用旅客自動車運送事業の認可がないと運行できないのか。

【川村委員】 デマンドタクシーは一般乗用旅客自動車運送事業の認可は不要であり、一般乗合の区域運行で運行することが可能である。もしくは、乗車定員が 10 名以下かつ実証運行の場合、一般乗用旅客自動車運送事業で一定期間運行することができる。2 パターンあり、深谷市がどのように進めるか次第である。

【田尻委員】 タクシー事業者の民業圧迫を避け、安定したデマンドタクシーの運行を目指すために深谷市タクシー協議会に委託することとなったが、再編後は現運行事業者が深谷市タクシー協議会に入っていない状況である。現在、花園観光バス株式会社はデマンドバスを区域運行で運行しているが、令和 9 年度から区域運行の認可を持っている事業者が参加できないのはなぜか。

【事務局】 前回の会議で運行事業者を深谷市タクシー協議会に委託することについて協議し、承認をいただいた。

【田尻委員】 深谷市のデマンドタクシーは、一般乗合の区域運行かつ一般乗用旅客

自動車運送事業に認可を得ていないと運行できないのか。会社としては、令和9年度からの東部シャトル便およびデマンドバスからの撤退によって、今まで事業のために確保した雇用をどうすべきか困ってしまう。仮に一般乗用旅客自動車運送事業の認可が下りた場合、デマンドタクシーの運行に関わることができるのか。

**【事務局】** 前回の会議で説明を行っており、令和9年度からは運行事業者を深谷市タクシー協議会とし、ドア・ツー・ポイントに対応できるようにする。

**【田尻委員】** デマンドタクシーは区域運行でも可能である。例えばデマンド運営協議会のようなものを設立することもできるのではないか。デマンドタクシーを運行するにあたり、一般乗用旅客自動車運送事業は不要であるため、制限を設けるのは違うのではないか。

**【長原会長】** 運行事業者については前回の会議で決定されており、覆すことはできない。

今回は、前回の会議で運行時間帯と運賃について意見をいただいております、今回の会議の協議事項としている。

**【田尻委員】** 定時定路線の東部便は、自動運転について「導入を検討」と記載されているが、実際には自動運転の導入が決定事項となっているのではないか。

**【長原会長】** 深谷市の考え方として、埼玉工業大学と連携し、バス業界の運転手不足等に対応できるよう、国の方針にもある通り、自動運転バスの導入を目指している。深谷市内の4路線すべてで今すぐに自動運転バスを導入するというわけではない。今回の会議では、運行ルート等について協議していただきたい。

**【田尻委員】** 乗用タクシー事業の認可を取得した場合、深谷市タクシー協議会に加入しデマンドタクシーの運行に参加することは可能か。

**【長原会長】** 深谷市タクシー協議会の構成員について市は関与しない。運行事業者は深谷市タクシー協議会とする。

**【長原会長】** その他、質疑等あるか。

(意見なし)

【長原会長】 それでは、議案第 1 号については原案のとおり承認するという事でよろしいか。

(異議なし)

【長原会長】 意義なしとのことで、「議案第 1 号深谷市コミュニティバス『くるリン』(デマンドバス・定時定路線)の再編内容について」は原案の通り承認された。

## 議案第 2 号 深谷市コミュニティバス「くるリン」再編計画素案(案)について

◆本業務の受託業者より資料 2 の説明

◆質疑

【田尻委員】 再編後のデマンドタクシーの利用ターゲットは「高齢者及び障害者による買い物や通院のための利用を優先的な利用ターゲット」とされている。今後、利用目的を予約時に確認するのか。

【事務局】 将来的には利用の目的を確認し予約を行いたいと考えている。

【長原会長】 現状では周知に徹することとする。考え方として、通勤・通学によるデマンドタクシーの利用は、本来の目的と異なるため、利用者に理解いただきながら、定時定路線の利用を促す方向で進めていきたい。

【田尻委員】 受付の受託者として、通学や保育園送迎、障害者の利用が多い印象である。デマンドバスの電話回線は増やせば 3 回線で行っているが、それでも電話がつながりにくい状況である。素案(案)の 2-5 において、WEB 予約を行う場合、利用件数は増えると思われるが、WEB 予約を利用できない方に対する配慮がないと、利用効率が上がる一方、今まで利用していた方が利用できなくなる。予約方法については、電話予約と WEB 予約とで受付日に差を設け、高齢者の利用利便性を確保してほしい。利用者の中には、通院が終わり予約の電話をしたところ、次の乗車まで 3 時間後の案内となり、迎えが来るまで待機している方もいる。高齢者や障害者に配慮したシステムを構築してほしい。またシステム会社が定期的に変わることによって、今まで蓄積したデータが無駄になってはいけない。現状の予約システムの細かなところを確認しながらシステム事業者を選定しサービス改善に努めてほしい。

【長原会長】 デマンドバスを 1 台増やし、ドア・ツー・ポイントにする理由として、

高齢者や障害者への対応を目的としていることから、予約方法やシステム等を今まで以上に考慮する。現在蓄積しているデータは深谷市の財産の為、取り扱いを検討したい。

【事務局】 今後、デマンドタクシーの利用ターゲットを明確化するために、来年度には、現デマンドタクシーの登録者 5,000 名以上の方々に対し、周知を図っていく。

【長原会長】 その他、質疑等あるか。  
(意見なし)

【長原会長】 それでは、議案第 2 号については原案のとおり承認するという事でよろしいか。  
(異議なし)

【長原会長】 意義なしとのことで、「議案第 2 号深谷市コミュニティバス『くるリン』の再編計画素案(案)」は原案の通り承認された。

#### 4. 報告事項

◆事務局より資料 3 の説明

◆質疑  
(質疑なし)

#### 5. 閉会